

平成28年第 1 回
区づくり推進横浜市会議員会議
会議資料

平成 28 年 2 月 8 日
都 筑 区

目 次

平成28年度 都筑区編成予算案 総括説明書	1
平成28年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案の考え方	2
自主企画事業費の施策体系	3
自主企画事業費	
施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	
1 地域の子育て力アップ事業 重点	4
2 健康づくりの推進 重点 拡充	6
3 シニア☆スター育成プロジェクト 重点 拡充	7
4 保育所を拠点とした地域子育て支援事業	8
5 学校・家庭・地域連携推進事業	9
6 青少年健全育成事業	10
7 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業	11
8 障害者交流啓発事業	12
施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり	
9 メイドインつづき推進事業 重点	13
10 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 重点 拡充	14
11 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習事業） 重点	15
12 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	17
13 国際交流・多文化共生事業	18
14 街のにぎわいづくり事業	19
15 自治会・町内会支援事業	20
施策3 安心して暮らせるまちづくり	
16 危機管理対策推進事業 重点 拡充	21
17 災害にそなえる自助・共助の推進事業	22
18 安全・安心なまちづくり事業 拡充	23
19 生活衛生推進事業	24
施策4 豊かな環境を生かしたまちづくり	
20 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	25
21 グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全事業 重点	26
22 環境にやさしいまち推進事業	27
23 ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会活動推進事業	28
24 まちづくり総合調整事業 拡充	29
施策5 共感と信頼の区役所づくり	
25 区役所改善推進事業	30
26 広報・広聴事業	31
区環境未来都市推進事業	
東京都市大学連携によるコミュニティ活動向上プロジェクト 新規	32

※ 重点事業は**重点**、拡充事業は**拡充**、新規事業は**新規**と表記しています。

平成28年度 都筑区編成予算案 総括説明書

＜個性ある区づくり推進費総括表＞

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増△減
1 自主企画事業費	103,021	99,808	3,213
2 区環境未来都市推進事業 ※	1,000	0	1,000
(温暖化対策プラス事業)	0	3,000	△ 3,000
3 一般管理費	656,777	659,799	△ 3,022
(1) 統合事務費	21,053	19,536	1,517
(2) 区庁舎・区民利用施設管理費	635,724	640,263	△ 4,539
合 計	760,798	762,607	△ 1,809

※ 区が地域特性を生かした事業を提案し、環境未来都市計画を推進するための事業費

＜内訳＞

1 自主企画事業費

(単位：千円)

施 策	平成28年度	平成27年度	増△減
(1) いきいきと健やかに暮らせるまちづくり	27,349	29,278	△ 1,929
(2) 活力とにぎわいあふれるまちづくり	19,768	21,345	△ 1,577
(3) 安心して暮らせるまちづくり	16,181	12,549	3,632
(4) 豊かな環境を生かしたまちづくり	16,689	16,401	288
(5) 共感と信頼の区役所づくり	23,034	20,235	2,799
合 計	103,021	99,808	3,213

2 区環境未来都市推進事業

(単位：千円)

事業名	平成28年度	平成27年度	増△減
東京都市大学連携によるコミュニティ活動向上プロジェクト	1,000	0	1,000

3-(1) 統合事務費

(単位：千円)

	平成28年度	平成27年度	増△減
統合事務費	21,053	19,536	1,517

3-(2) 区庁舎・区民利用施設管理費

(単位：千円)

区 分	平成28年度	平成27年度	増△減
区庁舎等管理費（光熱水費含む）	238,940	245,063	△ 6,123
土木事務所管理費（光熱水費含む）	5,067	4,902	165
地区センター等管理費	143,306	142,892	414
ログハウス管理費	7,691	7,691	0
公会堂管理費（光熱水費含む）	32,982	32,079	903
老人福祉センター等管理費	103,353	103,353	0
コミュニティハウス管理費	48,630	48,630	0
区スポーツセンター管理費	40,921	40,819	102
都筑多文化・青少年交流プラザ管理費	6,894	6,894	0
その他（広場・遊び場）	440	440	0
区庁舎・区民利用施設修繕費	7,500	7,500	0
合 計	635,724	640,263	△ 4,539

平成 28 年度 都筑区個性ある区づくり推進費 自主企画事業費予算案の考え方

都筑区は 15 歳未満の年少人口の割合が他区と比べて最も高いまちとなっていますが、一方で、65 歳以上の高齢者人口が将来に向かって増え続け、今後は、年少人口と高齢者人口が逆転することが見込まれます。このため、**こども・子育て支援**に加え、地域包括ケアの推進に向け人材育成と支えあいの輪づくりに着手し、**将来の高齢化に備えて**いかなければなりません。さらに、区民の皆様が健康でいきいきとした生活がより長く送れるよう、**健康寿命の延伸**のための事業を進めていく必要があります。また、**活動の担い手を支援し地域のつながりを深め**、地域の力で課題に対応できる基盤をつくっていく必要があります。一方、**都筑区の産業や都市環境、プロスポーツチーム**の存在は、都筑区の大きな財産です。これらの魅力を生かし、より活性化していくべきです。なお、**区民の安全を守る防災対策**については、継続して推進していく課題です。

平成 28 年度は、27 年度に完成する都筑区の将来に向けた 2 つの計画「都筑区まちづくりプラン」と「第 3 期地域福祉保健計画『つづき あい』」を具体的に進めていくスタートの年になります。自主企画事業においては、これらの区の将来像となる計画を積極的に推進するとともに、平成 29 年春開催の全国都市緑化よこはまフェア、2020 年東京オリンピック・パラリンピック競技大会といった大規模イベントについても盛り上げてまいります。

こうした観点から、平成 28 年度については、

- 地域の子育てカアップ
- シニア世代の担い手育成
- 健康づくりの推進
- 区民の活動とつながりづくりの支援
- 「メイドインつづき」の推進
- 全国都市緑化よこはまフェアを見据えた緑化推進
- グリーンマトリックスを生かした安全対策
- 横浜ビー・コルセアーズの応援を通じたスポーツ推進
- 危機管理対策

の 9 つについて、特に力を入れて実施していく「重点事業」と位置づけ、積極的に取り組んでいくとともに、その他の事業についても、着実に推進してまいります。

区職員が一体となって取り組み、区民の皆様とともに、ふるさとづくりに取り組んでいきます。

自主企画事業費の施策体系

施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

子育てしやすい環境づくりや健康づくりなどを支援し、誰もがいきいきと暮らせるまちを目指します。また、シニアの豊富な経験を地域で生かせる取組を進めます。

- 重点** 1 地域の子育て力アップ事業
- 重点** **拡充** 2 健康づくりの推進
- 重点** **拡充** 3 シニア☆スター育成プロジェクト
- 4 保育所を拠点とした地域子育て支援事業
- 5 学校・家庭・地域連携推進事業
- 6 青少年健全育成事業
- 7 都筑区地域福祉保健計画「つづき あい」推進事業
- 8 障害者交流啓発事業

施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり

区内に多くある農地や優れた技術をもつ中小製造業、都筑区をホームタウンとして活躍するプロスポーツチーム、活発な区民活動など地域のあふれる魅力を生かしながら、活力あるまちづくりを推進します。

- 重点** 9 メイドインつづき推進事業
- 重点** **拡充** 10 横浜ビー・コルセアーズ応援事業
- 重点** 11 つづき“縁”ジン事業（市民活動・生涯学習事業）
- 拡充** 12 文化活動支援・スポーツ振興事業
- 13 国際交流・多文化共生事業
- 14 街のにぎわいづくり事業
- 15 自治会・町内会支援事業

施策3 安心して暮らせるまちづくり

防災・防犯等の対策を通じて、住み慣れた地域で誰もが安心して暮らせるまちを目指します。

- 重点** **拡充** 16 危機管理対策推進事業
- 17 災害にそなえる自助・共助の推進事業
- 拡充** 18 安全・安心なまちづくり事業
- 19 生活衛生推進事業

施策4 豊かな環境を生かしたまちづくり

緑地保全や地球温暖化対策を推進することで、環境にやさしいまちづくりを行うとともに、都筑区の地域資源である緑道等の安全対策に取り組み、快適な環境づくりを進めます。

- 重点** **拡充** 20 つづき水と緑の魅力アップ推進事業
- 重点** 21 グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全事業
- 22 環境にやさしいまち推進事業
- 23 ハマロード・サポーター、公園・緑道愛護会活動推進事業
- 拡充** 24 まちづくり総合調整事業

施策5 共感と信頼の区役所づくり

区民の皆様の視点に立ったおもてなしの行政サービスを正確かつ親切・丁寧を提供するほか、区政情報を多様な手段により発信します。

- 25 区役所改善推進事業
- 26 広報・広聴事業

自主企画事業費

※28年度に新たに実施する項目については
下線が引いてあります。

施策1 いきいきと健やかに暮らせるまちづくり

1 地域の子育てカアアップ事業 重点	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		870万8千円	808万3千円

地域・学校・団体・区役所が連携し、子育て支援のネットワーク化や地域活動の活性化を図り、子育て世代と地域の交流を進めます。妊娠期から小・中学生までの切れ目のない子育て支援を地域ぐるみで進めていきます。

1 夫婦で子育て応援事業

就労をしている妊婦や父親が参加しやすいように、土曜日に両親教室を実施します。
(2か月に1回、区役所2回+ポポラ4回)

2 外遊び広げ隊事業

乳幼児の保護者が継続して外遊びに取り組めるよう、28年度は、27年度の12公園(年2回)から6公園(年4回程度)に拠点を絞り、外遊びのイベントを実施します。併せて、継続的・自主的に実施できるよう支援するため、外遊びの必要性、手法についての研修を開催します。

3 子育てネットワーク事業

地域子育て支援拠点Popola(ポポラ)や区社会福祉協議会と協力して、区内で活動する子育てサークルの連携会等を行い、情報交換やネットワークを作り、子育て支援の担い手や地域のグループの活動を支援します。(講座:4回)

4 虐待等相談及び養育支援事業

虐待・家庭内暴力等の相談を充実するため、相談体制を強化しています。養育に上手く対応できていない養育者に対して、訪問員が継続的な養育支援を行い、児童虐待を予防します。

5 区民による子育てマップの作成(つづきチルコロMAP)

子育て中の区民がもつ外遊びや公園等の情報を掲載した子育てマップ(つづきチルコロMAP)を、地域子育て支援拠点と協働して更新します。

6 放課後キッズクラブ運営NPO法人設立支援事業

はまっ子ふれあいスクールから放課後キッズクラブへの転換に際し、運営委員会に対するNPO法人設立支援や、運営開始後に必要な実務的な支援等を実施します。

(28年度:地域によるNPO法人設立2校、29年度以降:運営形態未定で残12校)

7 地域が支える子ども達の居場所づくり事業

民生委員・児童委員をはじめとした地域のボランティア等の協力を得て、様々な課題を持った小学生を対象とした居場所を作ることにより、基本的な生活・学習習慣等を身に付けられるよう、地域の中で支援します。(実施地域：2か所)

8 学齢期保護者のネットワーク作り支援事業

小学校入学予定児童のうち、就労している保護者を対象に入学後の不安を解消するため、講演会を実施するほか、放課後児童健全育成事業の紹介や小学校別に情報交換の場を設け、保護者同士の交流づくりを実施します。

【区配事業】両親教室（母子保健指導事業）（こども青少年局）

妊娠・出産・育児について正しい知識を身につけるために両親教室（1コース4回/月）を実施します。

【区配事業】児童虐待防止啓発地域連携事業（こども青少年局）

児童虐待防止の広報啓発、こども家庭支援課の職員を中心にした人材育成や、都筑区児童虐待防止連絡会の関係機関のスキルアップを目的とした研修、講演会等を強化するため、職員研修を5回、関係者向け講演会を1回実施します。

【区配事業】放課後の居場所（放課後児童健全育成事業）（こども青少年局）

1 放課後キッズクラブ

学校施設を利用し、児童の交流の場と遊びの場・留守家庭児童対応の場の役割を兼ね備えた安全で快適な放課後の居場所を提供します。

2 はまっ子ふれあいスクール

学校施設を利用し、児童の交流の場と遊びの場の役割を備えた安全で快適な放課後の居場所を提供します。

3 放課後児童クラブ（学童保育）

民間アパートや借家・町内会館等において、留守家庭児童を対象に、家庭的な雰囲気より大切に放課後の居場所を提供します。

【区配事業】寄り添い型学習等支援事業（健康福祉局・こども青少年局）

養育環境に課題がある、生活困窮状態にあるなど支援を必要とする家庭に育つ小・中学生等に対し、将来の進路選択の幅を広げ、自立した生活を送れるようにすることを目的に学習支援等を実施します。

2 健康づくりの推進 重点 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	194 万 2 千円	193 万 9 千円	3 千円

緑や公園が多く、農業も盛んな区の魅力資源を活かし、区民や企業等の方々と連携して地域ぐるみで健康づくりに取り組む風土づくりを目指します。健康づくりを通じた地域のつながりづくりや、子どもから高齢者まで各世代に応じた健康づくりに取り組みます。

1 運動習慣の定着事業【新規】

地域では、ラジオ体操やウォーキングポイント事業に参加するなど運動する人が増えつつあります。引き続き、運動習慣が定着するよう自治会町内会やスポーツ推進委員等と連携し、地域の活動やイベント等での実施を呼びかけます。また、運動に関する講演会や運動講師を地域に派遣するなど普及啓発を行います。

2 食育推進事業

区内の保育園、幼稚園、小・中学校が一同に集まる「食育情報交換会」を開催し、子どもたちの成長に合わせた切れ目のない食育の推進や、都筑野菜を給食等に使う地産地消などの取組を支援します。また、保健活動推進員やヘルスメイトなど地域団体や企業と連携し、食育フェアや区民まつり等で健康チェックや運動・食育の体験コーナーを設けるなど、健康に関心をもつきっかけづくりの機会を提供します。

3 がん・生活習慣病予防啓発事業【新規】

がん検診や特定健康診査の受診を促すため、保健活動推進員の活動やイベント、地域の集まり等での啓発、乳幼児健診会場等の場を活用した啓発を行います。

【区配事業】370万市民の健康づくりの推進（健康横浜 21 推進事業・よこはま健康アクション推進事業・よこはま健康スタイル推進事業・食育の推進）（健康福祉局）

「健康寿命日本一」を目指して地域や企業等と連携した都市型の健康づくりモデルを創出し、区民の健康に関する意識や知識の向上のみならず、健康行動が持続・習慣化できるよう、「よこはまウォーキングポイント事業」や「健康経営企業」の推進など、健康づくりに関する事業を実施します。

【区配事業】がん検診事業（健康福祉局）

がんの早期発見・早期治療を促進するため、各種がん検診を、区福祉保健センター及び実施医療機関等で実施します。あわせて、個別に受診勧奨を行います。

3 シニア☆スター育成プロジェクト 重点 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	114 万 7 千円	91 万 4 千円	23 万 3 千円
<p>シニアの豊富な経験を生かし、介護予防・認知症予防の活動もできる地域づくりのリーダー（シニア☆スター）を育成することで、身近な地域での支え合いのネットワークづくりを推進します。</p> <p>1 支え合いのネットワークづくりのための人材育成【新規】</p> <p>区が区社会福祉協議会・地域ケアプラザと連携し、地域で活動するシニア☆スターを育成します。（28年度は地域ケアプラザ1か所でモデル実施）</p> <p>（1）<u>介護予防や認知症予防の知識を深め、地域で主体的に活動するための「人財育成講座」を開催します。その後もフォローアップ講座などの支援体制を検討し、実施します。</u></p> <p>（2）<u>シニア☆スターが、区民の方々に介護予防や認知症予防の意義・目的などの普及啓発や、居場所づくり、ネットワークづくりなどが行えるよう支援します。</u></p> <p>2 認知症サポート連絡会</p> <p>キャラバンメイトが認知症の正しい理解と普及について検討を行うサポート連絡会を開催します。（年10回、参加者30人）</p> <p>3 福祉保健情報提供事業</p> <p>福祉保健情報コーナー「ふくほの森」の管理・運営、サポートスタッフ（市民ボランティア）を配置します。</p> <p>チラシ・パンフレットの配布や閲覧資料の紹介、介護施設サービス等の情報提供、申請書類の記載支援、来庁者の案内誘導等を行います。</p>			

4 保育所を拠点とした 地域子育て支援事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		430 万 2 千円	420 万 7 千円

市立保育所の子育て支援機能を活用し、地域の親子に仲間づくりや身近な相談ができる環境を提供します。

1 おひさま広場（園庭開放）

市立保育所が、子育て中の保護者にとって地域の身近な子育て支援機関となるよう、保育協力を配置して園庭を開放し、園庭で子どもを遊ばせながら育児相談などができるようにします。

2 休日園庭開放

市立保育所の中川西保育園及び茅ヶ崎南保育園において、民生委員・児童委員など地域の協力者の見守りにより、毎月第3日曜日にも園庭を開放します。

3 給食体験事業

地域の親子が市立保育所の園児と一緒に給食を体験する場を設けます。また、市立保育所職員が保護者へ、食事の作り方や与え方について助言します。

4 ほいくえん広場

市立保育所、認可保育所及び横浜保育室等が合同で、保育所の遊びの紹介や育児相談などを行います。親子が参加しやすいように地域ごとに実施します。

【区配事業】市立保育所を活用した保育資源ネットワークの構築事業（こども青少年局）

市立保育所では、民間保育所を含めた施設や人材を保育資源ととらえ、地域の子育て支援を推進するとともに、各保育資源が連携して保育資源全体の保育の質の維持・向上を図っています。市立保育所が核となり地域の親子に対する仲間づくりや身近な相談ができる環境の提供などに努めています。

【区配事業】保育所・幼稚園・認定こども園子育て広場事業（こども青少年局）

保育所の地域子育て支援事業として市立保育所での園庭開放（おひさま広場）を実施しています。また、同様に民間保育所15園でも園庭開放を実施しています。

5 学校・家庭・地域連携推進事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	447 万 6 千円	454 万 8 千円	△7 万 2 千円

学校・家庭・地域及び行政機関が相互に協力、連携し、子ども・青少年の健全育成及び安心して子育てができる環境づくりを行います。

1 「トツキトウカYOKOHAMA」を活用した命の授業

小学校6年生を対象に助産師や保健師による講義や、保護者による詩集の朗読を通して、両親の子どもを思う気持ちを理解し、命の尊さを知り、人を思いやる気持ちを育む授業を区内の全小学校（22校）で実施します。

2 赤ちゃんふれあい体験等事業

- (1) 中学生に生命の尊さを実感してもらい、早い時期から子育てに対する意識を高めるため、地域の協力を得て、地域に住む乳幼児とその保護者や妊婦と中学生のふれあい体験事業を区内全中学校（8校）で実施します。
- (2) 赤ちゃんふれあい体験に参加した中学生が書いた保護者あてのメッセージを、メッセージ集にまとめ、中学生のいる全世帯等に配布します。

3 こども防犯・交通安全推進事業（スクールゾーン、こども安全対策、交通安全教室等）

子どもたちの安全確保のため、警察や土木事務所と連携し、路面標示や電柱巻の新設・補修、交通安全の啓発等を行うとともに、地域や小学校PTAが中心に行うスクールゾーン・防犯対策協議会の取組に対する支援を行います。

また、警察等と協力し、小学校児童を対象とした安全な道路の渡り方・自転車の乗り方等の交通安全教室を実施します。

6 青少年健全育成事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	267 万 3 千円	260 万 4 千円	6 万 9 千円

青少年の健全育成に取り組む団体を支援し、青少年のためのよりよい環境づくりを推進します。また、青少年が自主的に活動できるような事業を実施し、いきいきと活躍できる機会を提供します。

1 青少年指導員活動

地域における青少年の自主的活動や地域環境づくりを推進し、青少年の健全育成を図るために、青少年指導員の活動を支援します。

2 はあとd e ボランティア

(1) はあとd e ボランティア～中高生のための夏休みボランティア体験～

夏休み期間を利用して、中・高校生が、普段関わる機会が少ない年代や地域の方々と交流し、体験を通じて学ぶことで、新しい自分との出会いや新たな発見ができるきっかけとするために、ボランティア体験事業を実施します。また、中・高校生と地域をつなぐことによって、地域の大人にとっても、中・高校生に出会える場、新たな気づきの場となることを目指します。(7月～8月実施予定)

(2) はあとd e ボランティア プレコース (小学校高学年向け)

既存の中・高校生向け事業と連携して、より早い段階からの意識づけと対象者の拡充を目的に、小学生向け事業を試行実施します。小学校5・6年生が、地域の大人や中・高校生と共に活動を体験する中で、将来ボランティア活動に関心をもつきっかけを提供します。

3 つづきウォーク&フェスタ

都筑区の魅力の発見や青少年を含む参加者の世代を越えた交流、健康増進を目的として、ウォークラリーを実施します。ゴール地点では、中・高校生が吹奏楽・ダンス等を通じて創造性や自主性、個性を表現するためのフェスタを実施します。また、中学生を運営ボランティアとして受入れ、イベント参加者等とふれあう機会を提供します。(11月23日実施予定)

7 都筑区地域福祉保健計画 「つづき あい」推進事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	289 万 1 千円	583 万 9 千円	△294 万 8 千円

人のつながりを実感し、安心して暮らせる地域づくりを行うため、28年度からスタートする第3期都筑区地域福祉保健計画を着実に推進していきます。

第3期計画は、統計データ等を踏まえ「子ども・青少年」「高齢者」「障害者」「健康づくり」など、分野別に取り組を進めます。また、連合自治会町内会や地区社会福祉協議会が主体となって策定した地区別計画の取組を支援していきます。

計画の推進にあたっては、区、区社会福祉協議会、区内地域ケアプラザの3者の連携をより深め、一体的に取り組んでいきます。

1 地域懇談会の開催

地域における課題解決に向けて話し合う場である地域懇談会を開催し、全15連合自治会町内会において地区別計画を周知するとともに、取組を支援します。

2 地区別計画応援事業

地域で活動をしている方や団体の輪が広がり、相互に連携して取組を進めていけるよう、区・区社会福祉協議会・区内地域ケアプラザが連携しながらボランティアや活動の担い手育成など、地域福祉保健計画を推進する基盤づくりに取り組みます。

3 地域福祉保健活動補助金「つづき あい基金」

地域における第3期計画の取組を支援するため、「つづき あい基金」への補助を行います。

4 計画情報誌の発行及び計画発表会等の開催

地域福祉保健計画を推進する地域の取組を掲載した情報誌等を発行するほか、計画発表会である「つづき あいフォーラム」やパネル展を開催し、地域の取組を共有する手段や機会の提供に取り組みます。

5 第3期計画の推進体制づくり

地域福祉保健計画の推進について、医療、保健、福祉関係者や地域住民が意見交換を行う場である都筑区地域福祉保健計画推進委員会を開催するとともに、第3期計画における各取組分野に関して意見交換を行う場を設け、第3期計画をきめ細かく推進していくことのできる体制づくりに取り組みます。

8 障害者交流啓発事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		121 万円	115 万円

障害児・者と区民の方々との交流を図るため、共に参加できる行事を開催し、障害児・者が参加しやすい環境づくりを進めます。また、地域との関係を深めつつ、販売活動等を支援し、障害者の社会参加につなげます。

1 福祉農園事業

障害児・者等の皆様が、さつまいもの苗植えから収穫までを体験します。収穫に併せて、舞台上でアトラクションや模擬店等を実施し、障害児・者と区民の方々との交流を一層促進します。
(10月実施予定)

2 障害者地域啓発事業

区民まつり等において、障害児・者が参加しやすい環境をつくることにより、交流の機会を増やします。

3 障害者地域作業所支援事業【新規】

多くの区民の方々に障害者の活動を理解していただき、障害者の社会参加につなげるため、区民ホール、駅構内、商業施設等において各地域作業所の自主製品の販売活動や、障害者が主役となって実施するイベント開催等の活動を支援します。

4 自立支援協議会活性化事業

障害者等への支援体制の整備を図ることを目的とした「自立支援協議会」において、情報共有・社会資源の創出や、地域課題の解決のため、関係機関の連携強化と資質の向上を目指した研修会を実施します。

施策2 活力とにぎわいあふれるまちづくり

9 メイドインつづき推進事業 重点	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		548万8千円	442万7千円

中小製造業の持つ高度なものづくり技術や独創的な製品、区内でとれた新鮮な野菜果樹などの「メイドインつづき」をPRすることにより、販路開拓や地産地消につながるよう支援します。

1 展示会出展等支援

中小製造業の販路拡大を支援するため、展示会への出展等を支援します。

2 事業PRイベントの実施

区民に向け区内企業の活動紹介や都筑野菜の販売・紹介を行うイベントを実施します。

3 地産地消の推進【新規】

区内農産物消費者と生産者のマッチング、都筑野菜朝市の定期開催やイベント開催、マルシェセット（※）を貸し出すことにより、都筑野菜PRののぼり旗の掲出を促進するなど、地域の中での地産地消の推進を支援します。

※直売の実施にあたり必要なエプロンや黒板、イスなどの物品をまとめたもの。

4 都筑野菜を使用した商品認定【新規】

都筑野菜を使用した商品を認定し、PRすることで都筑野菜の普及を推進します。

【区配事業】ものづくり人材育成支援事業（経済局）

地域で頑張る企業の魅力向上、認知向上を図り、あわせて地域経済の活性化を進めていきます。

【区配事業】身近に感じる地産地消の推進事業（環境創造局）

地域発の地産地消の情報発信・PRに資するイベントや広報等の活動を支援します。

10 横浜ビー・コルセアーズ応援事業 重点 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	60 万円	50 万円	10 万円

都筑区をホームタウンとするプロバスケットボールチーム「横浜ビー・コルセアーズ」のPR活動や地域に根差したチーム作りの支援を行うとともに、地域が一体となってチームを育てる体制づくりに取り組むことで、市民スポーツの振興や地域活性化を図ります。

1 「大ビー・コル展（仮称）」の開催【新規】

今年の秋に予定されているプロバスケットボール新リーグ開幕に合わせて、より多くの区民の関心を高める企画を盛り込んだ「大ビー・コル展（仮称）」を開催します。区民ホール、センター南駅周辺等でのパネル展示、応援メッセージボードの作成、リーグ開幕カウントボード設置、ビッグフラッグ等による装飾を行います。また、スポーツセンターでのバスケットボールイベントやビーコルのあるまち・ホームタウンの風景コンテストを実施します。

2 都筑区応援 d a y の実施

ビー・コルセアーズの本拠地である横浜国際プールでの試合日の中で、区民の皆様に試合観戦を呼びかける都筑区応援 d a y を実施します。多くの区民の方々に興味を持っていただけるよう横浜音祭りとのコラボレーションによるオープニングパフォーマンスやつづきあいちゃんによる応援企画を行います。

3 商店街との連携支援

ビー・コルセアーズと商店街との連携企画、イベントの広報協力を行うことで、チームと商店街の連携を引続き支援し、地域に根差すチーム作りと地元プロスポーツに関わる人々の増加を図ります。

11 つづき“縁”ジン事業 (市民活動・生涯学習事業) 重点	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	255 万 4 千円	251 万円	4 万 4 千円

都筑区民活動センターと区民利用施設が協力し、地域の様々な課題解決に取り組む区民や団体を発掘・育成していきます。また、市民活動・生涯学習を広めることで、区民が自主的につながり、生きがいを持って暮らせる区を目指します。

1 都筑区で力を発揮し、区民のつながりづくりに取り組む団体の育成

(1) 大人の学級

地域の課題をテーマにした連続講座を開催し、その後、受講者が企画する事業を支援する「大人の学級」を地区センターと共催し、実施します。

(2) 区民利用施設情報交換会を実施します。

(3) つづき^{びと}交流フェスタ

区内の市民活動団体・グループによる活動内容の発表、団体同士の交流のためのイベントを実施します。

(4) 広報紙“つづき縁ジン”の発行

市民活動・生涯学習を始めるきっかけを提供するため、人材育成のための各種取組を効果的・効率的に発信する広報紙を市民サポーターとともに作成し、発行します。

2 輝く女性応援プロジェクト

技術や知識を持ち社会で活躍することを目指す女性、地域や社会との関わりが少なく悩みを抱える女性などテーマに応じた講座を開催するとともに、区内で活動する女性やグループのネットワークづくりを支援することで、女性が地域とつながり活躍できる環境づくりに取り組みます。

3 地域の読書活動推進事業

27年度に実施した「未来へつなぐ、本のあるまち@横浜・都筑フォーラム」で学んだことを実践していくため、地域に働き、住み、訪ねる人々が「本」を通じてお互いを知り、関係を創ろうという活動である「まちライブラリー」の展開を目指し、講座や講演会を実施します。

【区配事業】市民協働等推進事業（市民局）

各区の市民活動支援センターが取りまとめとなって、地域課題や施設の情報等を共有する会議やワークショップを通して、地域の施設間の連携を促進します。

【区配事業】横浜市民の読書活動推進事業（教育委員会事務局）

条例の制定趣旨を踏まえて策定した区の活動目標に基づき、地域全体で読書活動を推進するため市民への普及啓発等の事業に取り組みます。

【区配事業】元気な地域づくり推進事業（市民局）

中期計画（2014～2017）施策 18「参加と協働による地域自治の支援」を推進するため、地域の様々な団体等が連携・協働して行う課題解決の取組に対して、区と局が連携・協議し、方向性を共有しながら支援していく事業です。

「身近な地域において、様々な団体が連携し、地域課題の解決に取り組む場を充実させるため、この目標に向けた「組織づくり」「人材づくり」を進めます。

【区配事業】協働の「地域づくり大学校」事業（市民局）

中期計画（2014～2017）施策 18 を推進するため、自治会町内会活動をされている方をはじめ、民生委員等の委嘱委員、ボランティア活動をされている方など、地域で様々な活動をされている皆さんと、区役所の職員が、「協働による地域づくり」を推進するために、地域の課題解決の手法や魅力づくりを学び合う事業です。

現地見学により先進的な取組事例を学ぶとともに、グループワークを通じて課題解決の手法や魅力づくりを学び合います。

12 文化活動支援・スポーツ振興事業 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	334 万 4 千円	340 万 9 千円	△6 万 5 千円

区民の文化活動を促進し、発表の機会を提供するとともに、地域住民のスポーツの普及活動を推進し、区民の健康向上や余暇時間の質の向上を図ります。

1 都筑区民文化祭事業

区民による区民のための手作りの文化祭の開催を支援し、世代を超えて都筑の文化を創ります。(29年1月～2月実施予定)

2 スポーツ推進委員連絡協議会活動事業

地域におけるスポーツの普及活動を推進し、区民の健康向上や余暇時間の質の向上を図るために、スポーツ推進委員の活動を支援します。

3 体育協会活動補助事業

都筑区体育協会が行う各種目別の区民大会の開催や情報提供の支援を行います。

4 都筑ふれあい健康マラソン大会事業

都筑区の魅力である自然豊かな緑道をコースとし、親子でも楽しめるマラソン大会を開催することで、区民のスポーツ振興と健康増進、異世代交流を図ります。(29年3月実施予定)

5 未来につなぐオリンピック・パラリンピック事業【新規】

2020年オリンピック・パラリンピック東京大会の開催を契機として、青少年を対象にオリンピック・パラリンピック及びスポーツへの関心を通して夢や希望を与えるとともに、多様性への理解、国際理解等を考える機会として出場経験者による講演等を実施し、感動や学びを未来へ継承します。

6 都筑スポーツ・文化賞事業

スポーツ・文化の分野においてめざましい活躍、顕著な功績のあった都筑区にゆかりのある方々を表彰し、さらなる活躍を期待するとともに、区民のスポーツ・文化活動への関心を高めます。(29年1月実施予定)

13 国際交流・多文化共生事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		125 万円	130 万円

外国人及び日本人が共に安心して暮らし、活動できるまちづくりを推進します。外国人への情報提供や日本人との相互交流、青少年の地域活動及び区民の方々の活動の場の提供のため、国際交流ラウンジと青少年の地域活動拠点の機能を併せ持つ「都筑多文化・青少年交流プラザ」（つづき MY プラザ）の運営を委託し、次の事業を実施します。

1 国際交流・外国人支援事業

外国人のための生活情報提供、外国人支援ボランティアの養成、日本人と外国人との交流と相互の国際理解を図るためのイベント実施、T I C A Dに関連したアフリカ（ボツワナ共和国他）との交流事業を実施します。

2 市民活動支援

日本語ボランティアの市民活動団体・グループ等の活動場所を提供します。

3 青少年の地域活動拠点づくり事業

中・高校生世代を中心とした青少年が気軽に集い、仲間や大人との交流、さまざまな体験や自主的な企画・運営を行う事業を実施します。

【区配事業】国際交流ラウンジ事業（国際局）

地域の外国人支援及び国際交流の拠点として、多言語での情報提供や相談対応、日本語教室、日本人と外国人の交流事業などを実施する国際交流ラウンジを運営します。

【区配・局事業】青少年の地域活動拠点づくり事業（こども青少年局）

中・高校生世代を中心とした青少年が安心して気軽に集い、仲間や異世代との交流、社会参加プログラム等の体験活動を行う、地域活動拠点づくり事業を実施します。

14 街のにぎわいづくり事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		448 万円	349 万円

区民のふるさと意識の向上や、異文化交流によるつながりづくりを目的としたイベントを開催することで、街のにぎわいづくりを目指します。

また、商店街の魅力を地域に発信し、商店街活性化を図ります。

1 都筑区民まつり

区民の方々に地域に対する愛着やふるさと意識を醸成していただけるよう「第22回都筑区民まつり」を実施します。(11月3日実施予定)

2 都筑・ドイツ交流イベント事業

センター北駅前の芝生広場を中心にドイツの冬の風物詩であるクリスマスマーケットを都筑・ドイツ交流イベント実行委員会と共に開催します。(12月実施予定)

3 商店街魅力発信事業

都筑区商店街連合会等との意見交換の場を定期的に設け、都筑区の商店街振興の有効な手段を検討するとともに商店街の魅力を発信していきます。

【区配事業】商店街活性化イベント助成事業（経済局）

商店街が中心となり実施するイベント事業に対し補助します。

15 自治会・町内会支援事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	205 万 2 千円	230 万 8 千円	△25 万 6 千円

既存自治会町内会に対する各種支援を通じ、地域の活性化を図ります。あわせて地域のつながりの希薄化を解消し、地域を活性化していくため、自治会町内会への加入促進を図ります。

1 自治会町内会長感謝会

自治会町内会長感謝会を開催し、永年にわたり尽力された会長に対し、感謝状・表彰状を贈呈し感謝の意を表します。（29年3月実施予定）

2 自治会町内会関連事務費

区連会資料を、8月を除く毎月、各自治会町内会あてに配送します。

3 自治会町内会加入促進

自治会町内会加入案内リーフレットを印刷・配布し、加入促進事業を実施します。

【区配事業】地域活動推進費補助金（市民局）

自治会町内会等が実施する防犯、防災、環境美化など公益性の高い活動やレクリエーション活動などの事業費、総会開催費などの事務費に対して補助を行っています。

【区配事業】自治会町内会館整備助成（市民局）

地域活動の拠点となる自治会町内会館の整備を促進し、身近な活動の場の充実を図るため、会館整備に対する補助を行っています。補助メニューは、新築・増築・改修・修繕などで、整備費の2分の1を補助します。

施策3 安心して暮らせるまちづくり

16 危機管理対策推進事業 重点 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		582万8千円	580万円

大雨や台風による土砂災害や河川の氾濫を想定した風水害対策訓練、地震により負傷者が多数発生したことを想定した災害医療対策訓練などの各種訓練を通じて、関係機関・団体との連携を図ります。これに加えて、区災害対策本部運営訓練を実施し、区の災害対応力強化を図ります。

また、災害時における情報発信・収集を充実させるため、緊急時情報システムを新たに導入します。

1 災害に関する協議会等の開催

- (1) 「災害対策連絡協議会」や「帰宅困難者対策部会」を開催し、警察署等の関係機関・団体と情報共有や意見交換を行います。
- (2) 「地域医療・保健体制に関する都筑区危機管理対策協議会」や「災害医療連絡会議」を開催し、区医師会等の医療機関・団体と災害医療に関する情報共有や意見交換を行います。

2 各種防災訓練の実施

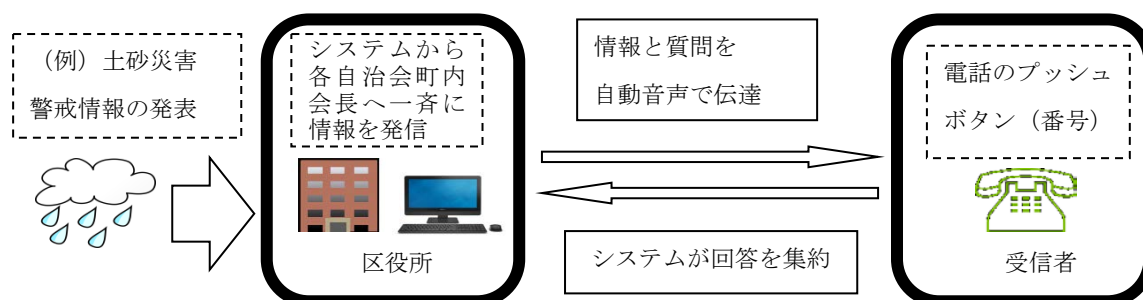
- (1) 警察署及び消防署等と実施する水防訓練や、区医師会等と実施する災害医療対策訓練及び交通事業者や帰宅困難者一時滞在施設等と実施する帰宅困難者対策訓練を通じて、関係機関・団体とのさらなる連携強化を図ります。
- (2) 区災害対策本部運営訓練を実施することで、区本部体制の強化並びに区職員の災害対応力の向上を図ります。

3 区本部体制の維持・管理

- (1) 必要とされる備蓄品や資機材等の維持・管理を行います。
- (2) 災害発生時の連絡体制の強化のため、鶴見川及び早淵川沿いに設置された防災用広報スピーカー、市本部等との連絡で用いる無線FAX及び区職員間の連絡で用いる防災携帯電話等の維持・管理を行います。

4 緊急時情報システムの整備【新規】

災害発生時もしくは災害発生が見込まれる際に、区内の自治会・町内会長へ必要と思われる災害情報を一斉に電話で知らせるシステムを導入します。



17 災害にそなえる自助・共助の推進事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		210万1千円	258万9千円

防災・減災講演会及び地域防災拠点運営委員向けの研修会等を開催するとともに、「災害時要援護者支援事業（つづき そなえ）」により、地域における支えあいの取組を支援することで、「自助」・「共助」の取組を推進し、地域防災力の向上を図ります。

1 地域防災拠点運営委員会の支援

地域防災拠点の開設・運営などに関する地域防災拠点運営委員を対象とした研修会を開催するとともに、拠点訓練実施の支援を行います。

2 防災・減災講演会の開催

大規模地震や風水害への備えなどについて市民を対象とした講演会を開催し、防災・減災に関する意識啓発を図ります。

3 補足的避難場所活用事業

多数の避難者で避難場所のスペースが不足した場合や避難場所が機能不能時に代替施設となる補足的避難場所について、地域防災拠点に準じた円滑な開設・運営ができるよう体制づくりを行います。

4 災害時要援護者支援事業「つづき そなえ」

災害時要援護者支援名簿を活用し、地域の実情に合った支援体制づくりのため、連合町内会自治会に対し補助金（1地区10万円）を交付します。

5 災害時のペット対策事業

災害時ペット手帳を1,000部増刷し、地域防災拠点訓練等で「災害時のペット対策」について啓発を行います。

【区配事業】地域の減災行動支援事業（総務局）

市民防災センターへの研修ツアーやその他講習会や研修会を実施することで、地域の防災担い手を育成し、町の防災組織を中心に自助・共助の取組を推進し、「災害に強い人・地域」づくりを支援します。

【区配事業】災害時要援護者支援事業（健康福祉局）

災害発生時に高齢者や障害者等の自力避難が困難な方々（災害時要援護者）の安否確認や避難支援等の支援活動が円滑に行われるよう、災害時要援護者支援名簿の提供など、日頃からの地域の自主的な支え合いの取組を支援します。

18 安全・安心なまちづくり事業 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		793 万 1 千円	799 万円

区民の安全で安心なくらしを実現するため、防犯パトロールの支援や消費生活推進員の活動支援、交通安全啓発を行います。

また、駅周辺に集中する放置自転車の対策やバリアフリー空間を確保するとともに、区内の落書きを防ぎ、犯罪発生の抑制、街の景観維持に努めます。

1 交通安全運動

都筑交通安全対策協議会、都筑警察署等関係団体と連携し、交通安全運動を実施します。また、交通安全運動に貢献された方を表彰します。

2 放置自転車対策事業

自転車等放置禁止区域にて監視指導を行う監視員を配置します。

3 地域防犯活動推進事業

地域防犯活動を行う自治会町内会及び地域の自主防犯のための青色回転灯パトロール隊に対し助成金を交付するとともに、研修会を行うなど活動を支援します。

4 消費生活推進事業

悪質商法の未然防止啓発等、区民の消費者力を向上するために活動する横浜市消費生活推進員に対し、活動助成金を交付するとともに、啓発物品を貸し出す等、各地区の活動を支援します。

5 落書き防止対策事業【新規】

落書き防止の啓発チラシを作成し、区内で活動する青色回転灯パトロール車に落書き防止の啓発マグネットステッカーを配布します。

【区配事業】自転車マナーアップ事業（道路局）

各区において駅前に放置防止監視員を配置し、自転車等の放置抑制を図ります。

【区配事業】落書き防止活動支援事業

各区が実施する落書き防止に関連する経費や物品購入について支援を行い、併せて各区で市民団体等に配付する提供物品の購入費用を区配します。

	H28 予算額	H27 予算額	増△減
19 生活衛生推進事業	32 万 1 千円	36 万 7 千円	△4 万 6 千円
<p>都筑区の食の安全・安心の確保及び動物愛護・適正飼育を推進します。</p> <p>1 食の安全と安心の確保事業【新規】</p> <p>本市が定める横浜市食品衛生監視指導計画に基づき、食品関係施設への立入検査等を幅広く効率的に実施します。その中で、<u>食中毒発生リスクの高い飲食店に対する自主管理の強化（加熱中心温度の自己点検等）</u>を重点的に実施します。</p> <p>2 人と動物が共生できる街づくり</p> <p>犬や猫等のペットの適正飼育を進めるため、長寿ペットの表彰や「犬の飼い方教室」等の啓発事業を行います。</p> <p>3 安全で快適な暮らし支援事業</p> <p>猫による糞尿の被害でお困りの区民の方への「お試し用」に、猫侵入防止機器の貸出しをします。</p>			

施策4 豊かな環境を生かしたまちづくり

20 つづき水と緑の魅力アップ推進事業 重点 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		159万5千円	131万5千円

環境創造局と連携し、緑アップの推進をします。

また、26年度に改訂した「都筑区水と緑の散策マップ」を活用し、都筑区の環境資源を広くPRするとともに、今後も区民の皆様がマップに愛着をもち、使い続けていただけるよう、内容を充実させるため、利用者のつながりづくりを目指します。

1 緑アップの推進【新規】

(1) 緑地の保全及び農地の活用

(仮称)池辺市民の森指定後の愛護会の組織づくりや整備、また、重点的に取り組むべき緑地の保全推進に向けて、環境創造局と連携し、地元等との調整を行います。

(2) 都筑区におけるみどりアップ計画の報告

横浜みどりアップの認知度を高めるため、PRパネル等を作成し、区民ホールやイベント等で掲出します。

(3) 全国都市緑化よこはまフェアに向けた取組

第33回全国都市緑化よこはまフェアの開催に向けて、区民・企業と連携した「都筑区花いっぱい運動」を展開し、公共施設や商店街、緑道等を花で縁取り、人・企業・まちをつなぎます。また、その一環として「(仮称)都筑区わが庭・花壇・菜園自慢」写真の募集を行います。

2 都筑区水と緑の散策マップの活用

都筑区水と緑の散策マップの販売促進PRを行うとともに、散策マップを活用した散策会を開催します。また、今後もマップを最新の内容に更新していけるよう情報を収集し、利用者同士がつながれる場として「マップファンクラブ」を運営します。

【区配事業】全国都市緑化よこはまフェア事業（環境創造局）

第33回全国都市緑化よこはまフェアの全市的な展開に向けて、開催の周知や盛り上げにつながる各区の取組について支援します。

【区配事業】市民が森に関わるきっかけづくり事業（森の楽しみづくり）（環境創造局）

森に関するイベントや講座の開催を支援することで、市民が森に関わるきっかけを提供し、森に関わる市民の裾野を広げます。

21 グリーンマトリックスをいかした 自転車・歩行者安全事業 重点	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	30 万円	30 万円	0 円

港北ニュータウンは、駅や公園などの公共施設を緑道と自転車歩行者専用道路のネットワークで結ぶグリーンマトリックスシステムを導入し立体交差による歩車分離を図っていますが、近年自転車と歩行者が錯綜するため区民の皆様から安全性の向上が求められています。

そこで、都筑区は、自転車・歩行者の安全の確保のため、26年度から「グリーンマトリックスをいかした自転車・歩行者安全事業」に取り組んでいます。27年度は、センター南、仲町台、北山田の駅周辺で「通行マナーの見える化」を図るため、看板設置や路面標示などを設置し、安全対策の実証実験を行いました。

この結果をもとに28年度からは、自転車歩行者専用道路や緑道において利用者の安全を確保するため、自転車・歩行者の安全対策及び通行マナーの啓発に取り組めます。

1 自転車・歩行者の安全対策・通行マナーの啓発

区配予算を活用し、自転車歩行者専用道路及び緑道の一部に歩行者優先を前提とした自転車通行の路面標示を整備し「通行マナーの見える化」を行うとともに、幹線道路等への自転車専用通行帯整備に向けた関係機関協議に着手します。

これに合わせ、自主企画事業費では、通行マナーの周知を図るリーフレットを作成し、児童・生徒等を対象とした学校行事や区民を対象とした各種イベント等でのマナー啓発を進めます。

【区配事業】自転車・歩行者の安全対策

道路等の維持・管理（道路局）及び公園の維持管理・運営、整備（環境創造局）の予算を活用し、整備します。

22 環境にやさしいまち推進事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	513 万 1 千円	505 万円	8 万 1 千円

「温暖化対策」と「3R夢プランの推進」を一体的に進めていくことで、地球環境にやさしいまちづくりを推進します。

1 都筑区温暖化対策・3R夢推進会議

5月に会議を開催し、温暖化対策・3R夢の推進に関する情報共有を行います。

2 温暖化対策推進事業【新規】

(1) 次世代自動車活用・普及啓発

区公用車として導入した次世代自動車（電気自動車2台、燃料電池自動車1台）を活用し、各種イベント等でのPRや区内事業者への普及啓発を実施します。

(2) つづきエコ活啓発

区民一人ひとりが実践しやすい温暖化対策の取組をPRするため、「身近にできるエコ講座」や環境映画上映会を開催します。

(3) 緑のカーテン事業

地球にやさしいライフスタイルの啓発のため、区庁舎の緑のカーテンの維持管理及び区内小中学校・保育園への育成支援を行います。

3 クリーン・ヨコハマ3R夢推進事業

(1) クリーン推進事業

きれいな街を推進するため、自治会町内会等が実施する地域清掃の支援、美化推進重点地区の定期清掃、駅周辺のポイ捨て防止啓発、不法投棄防止のための夜間パトロールや一斉清掃などを行います。

(2) ヨコハマ3R夢推進事業

3R行動を推進するため、パネル展やイベントを行うほか、若年層向け分別啓発として、東京都市大学と連携した取組や、赤ちゃん会での啓発、小学校・保育園・幼稚園を対象としたリユース図書の配付などを行います。また、リユース食器の利用促進に取り組みます。

(3) クリーン・3R夢功労者表彰

街の美化や3R行動の啓発の取組が顕著だった団体・個人を表彰します。

【区配事業】横浜みどりアップ計画「公共施設・公有地での緑の管理」事業（環境創造局）
横浜みどりアップ計画の一環として緑化を実施した公共施設・公有地において、管理水準の向上を図るため、敷地内の緑地の維持管理を支援します。

【局事業】「クリーンタウン横浜の推進」事業（資源循環局）
喫煙禁止地区以外の地域における歩きたばこ防止パトロール及び駅頭等での啓発活動を実施します。（都筑区はセンター南駅、センター北駅、中川駅にて実施）

23 ハマロード・サポーター、 公園・緑道愛護会活動推進事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		183 万 3 千円	264 万円 2 千円

身近な道路や公園を清掃、維持管理するボランティア団体に都筑区の状況に応じた支援を行い、活動の活性化を図ります。

1 ハマロードサポーター事業

各団体が活動拠点で行っている花壇づくりのための花の種や苗などを提供するほか、高齢者や小・中学生などの夏の暑い時期の活動を考慮し、活動時の飲料水を提供します。

また、8月の「道路ふれあい月間」等での活動のPRやパネル展や交流会を開催します。

団体数：39 団体(28 年 1 月現在)

2 公園・緑道愛護会活動推進事業

愛護会連絡会の総会・幹事会等の各種会議を運営支援し、パネル展やPR活動を実施します。

地域のネットワークの核となる公園の拠点倉庫に、草刈り機など共用の資機材を備えるほか、東方公園ほ場の消耗品等を提供します。

団体数：154 団体（公園愛護会 151 団体、水辺愛護会 3 団体）(28 年 1 月現在)

【区配事業】ハマロード・サポーター事業（道路局）

ハマロード・サポーター各団体へ清掃用具を提供する等により活動を支援します。

【区配事業】公園愛護会活動等支援事業（環境創造局）

活動面積に応じた報償費等により活動を支援します。

24 まちづくり総合調整事業 拡充	H28 予算額	H27 予算額	増△減
		783 万円	329 万円

まちづくりに関する区民の皆様の声を聴き、地域の課題解決等を図るため、課題解決に向けた検討や取組を、関係行政機関や区内企業・教育機関などと連携しながら進めます。また、地域の実情に応じたきめ細やかなまちづくりに向けて、区民主体のまちづくりを支援します。

1 企画調整・情報収集提供

企業との連携事業については、企業による学校出前講座（つづき博士倶楽部）や区内立地企業との情報交換を行います。

東京都市大学との連携については、地域課題に関する意見交換会（地域連携協力会議）や、職員・市民向けの研究発表会（地域連携協力発表会）、及び横浜キャンパスの学生を対象とした都筑区役所でのインターンシップを行います。

2 地域まちづくり推進【新規】

(1) 地域主体のまちづくりの推進

地域の実情に応じたルールづくりやまちづくりの普及・啓発活動、まちづくりグループへの支援を行います。

(2) タウンセンター周辺地区の活性化

タウンセンター周辺地区の活性化に向けた検討支援を行います。

(3) 都筑区の歴史の冊子作成

都筑区の魅力・特色を伝える講座の開催、都筑区の歴史の冊子作成に向けた検討を始めます。

3 まちの課題解決

(1) 外出利便性向上とバス利用促進

「日常の外出に関するアンケート調査」結果を踏まえた外出利便性向上策の検討及びバス利用促進のPRを実施します。

(2) まちの課題解決事業実施

「都筑区まちづくりプラン」改定作業の中で抽出した課題の解決に向けて取り組みます。
 （市街化調整区域の公園の代替となるスペース確保に向けた検討や取組等、優先順位を付けながら推進）

(3) まちの課題解決に向けた検討

その他、まちの課題解決に向けた検討を行います。

【局事業・区局連携事業】 地域交通サポート事業の拡大・展開（道路局）

都筑区南部エリアの移動手段の確保について、既存の地域交通サポート事業を拡大・展開して取り組みます。

施策5 共感と信頼の区役所づくり

25 区役所改善推進事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	966 万 3 千円	899 万 4 千円	66 万 9 千円

区民満足度の向上のため「あったかハートつづき宣言」に基づき、区役所で税理士等による確定申告書の提出・相談、子ども連れのお客様が安心して相談できる環境づくり等を実施します。

1 区役所改善推進事業

- (1) 窓口サービス等の改善を改革推進委員会等で検討し、実施します。
- (2) 人権意識の向上を目的として人権啓発講演会を、年1回実施します。(12月上旬実施予定)

2 区庁舎等環境改善

お客様が使いやすい区庁舎になるよう、案内サイン等の整備を進めます。

3 税理士等派遣事業

区民の方々が確定申告期(29年2月16日～3月15日)に税理士等による確定申告書の提出・相談を身近な区役所で行えるようにします。

4 来庁者サービスアップ事業

こども家庭支援課に窓口案内員を8時45分～17時に配置します。また、子どもの一時託児を9時30分～16時に実施することで、子ども連れのお客様が安心して相談できる環境を作ります。

26 広報・広聴事業	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	1,337万1千円	1,124万1千円	213万円

区民の皆様に積極的に区政情報の提供を行い区民生活の利便性を高めるとともに、区政への理解を深めます。また「市民の声」事業等広聴事業により多様化する区民ニーズや地域の課題を把握し、円滑な区政運営を図ります。

1 広報よこはま都筑区版発行事業

紙媒体発行、PDF版のホームページ掲載を引き続き実施します。8ページを基本としますが、広く区民の方々に周知すべき事項を掲載するため、増ページ（12ページ）の月を4回設けます。

2 インターネット広報

新たな市WEB版の構築に伴い、区ホームページにおける各種写真やデータなどのオープンデータ提供基盤を構築します。

3 PRボックスの活用

毎月10日に広報印刷物の補充等を行うほか、毎月1日には全駅のPRボックス見開き掲示板に最新号を掲示し、イベント・お知らせ等の積極的な周知を行います。

（地下鉄各駅・地区センター等、区内47か所に設置）

4 市民の声事業

窓口・郵送・インターネット等により区民の方々の提案・意見を直接把握し、区政に反映させます。

5 区民相談事業

法律相談、司法書士相談、税務相談、行政書士相談、民事調停相談、公証相談、交通事故相談を実施します。

6 地域における多様な広聴の機会等

様々な機会を通じて区民の方々からご提案やご意見をいただき、区政に反映させます。

（1）主要事業説明等周知

各地区連合町内会自治会単位で行う「主要事業説明会」にあわせて、地域の方々からご意見を伺います。

（2）意見交換会

住民相互の話し合いと行政との意見交換や、テーマ型団体と区長との意見交換などを通じ、地域課題について共通の理解を深め解決に向けた検討を行います。

（地域のつどい、区長の気軽にトーク等）

区環境未来都市推進事業

東京都市大学連携によるコミュニティ活動 向上プロジェクト 新規	H28 予算額	H27 予算額	増△減
	100 万円	0 円	100 万円
<p>東京都市大学、横浜市が連携して、団地の住戸を留学生のためのシェアハウスとし、留学生が地域活動に関わることで、コミュニティ活動の活発化や、多文化共生のまちづくりを目指します。</p> <p>1 事業推進のための連絡会議（仮）の運営</p> <p>今回のプロジェクトを進めるにあたって東京都市大学、横浜市、都筑多文化・青少年交流プラザ等の連絡調整や、総合的な計画の作成、課題の共有、解決に向けた協議などを行います。</p> <p>2 コミュニティ活動推進部会（仮）の運営</p> <p>東京都市大学、都筑区、都筑多文化・青少年交流プラザ、団地居住者、自治会町内会等が、団地及び地域内で、様々なコミュニティ活動の実践に向けた協議を行います。</p> <p>【主な取組例】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・留学生向けの生活ブック勉強会開催 ・居住者向けの多文化共生についての講座開催 ・地域行事への参画 			



※都筑区のマスコットキャラクター「つづき あい」
第3期都筑区地域福祉保健計画応援バージョン